

第59回国連大学理事会 日本政府主催レセプション

鈴木副大臣挨拶

平成25年4月23日（火）18時35分より

ハッサン理事会議長，国連大学理事の皆様，マローン学長，及びご列席の皆様，本日はお集まりいただき，ありがとうございます。

第59回理事会に出席するため訪日している国連大学理事の皆様を心から歓迎するとともに国連大学への暖かいご協力とご尽力に対して，ホスト国といたしまして心から感謝の意を表します。また，今回が最後の理事会となる理事の皆様にはこれまでの国連大学の発展のためのご支援とご協力に改めて感謝を申し上げます。

また，先月新学長にご就任されましたマローン学長には，心からお祝いとともに，歓迎を申し上げます。マローン学長は，カナダの外交官として長年に亘りご活躍され，カナダ国際開発研究所所長を経て，この度，国連大学学長に就任されました。マローン新学長がリーダーシップを発揮され，これまで培ってきた外交及び学術分野での経験を活かし，国連大学を一層発展させることを期待します。

国連大学は，東京に本部を置く唯一の国連機関です。国連大学は，1976年の設立以来40年近く，国連システム全体のシンクタンクとして，世界が直面する重要問題の解決に資する研究を行っています。グローバル化が進展する中で，平和構築と平和維持など平和と安全保障に関わるものから，開発と貧困削減，環境と開発をめぐる諸問題についての研究まで，国連大学に対する国際社会の期待は近年益々大きくなってきています。国連大学は，日本において国連の象徴的な役割を果たしており，わが国は，国連大学を引き続きホストしていく所存です。

特に、２０１０年に開始した大学院学位プログラムは、国連大学設立以来の３０年以上にわたる悲願でした。国連大学が博士・修士の学位授与をできるようになったことを我が国として高く評価しています。この大学院学位プログラムが、質の高いグローバルな人材育成プログラムとして国際社会に貢献するよう、日本の大学との連携協力にも意を用いつつ、今後も順調に発展していくことを期待しています。

また、「ツイン研究所」構想による途上国と先進国との間のパートナーシップ促進の試みは、途上国における人材育成の強化とともに国連大学の国際的なプレゼンス拡大にも役立っています。今後もこの構想の発展を期待しています。日本政府は、引き続き、国連大学と緊密に協力して世界の平和と繁栄に向けた国際社会の努力に貢献していく所存です。

最後になりましたが、本日、国連大学本部も望めるこのすばらしい会場にて皆様をお迎えするにあたり、森アーツセンターの藤井宏昭（ひろあき）理事長に格別のご協力をいただいたことに、この場を借りてお礼を申し上げます。

国連大学の活動の今後ますますの発展を祈念し、簡単ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。

（了）